

## 2024 Vol.1へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

\*『VIEW next』及び『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは、  
『VIEW next ONLINE』(<https://view-next.benesse.jp/>)でご覧いただけます。

●学校規模の大小にかかわらず、不登校の児童生徒への適切なかわりや指導・支援のあり方は、教員にとって大きな課題です。特集を読み、不登校の児童生徒が安心して学べる場として、オンラインを含めた居場所づくりが必須であると感じました。予算措置を待つのではなく、今の環境でできることから取り組んでいきたいと思えます。(愛媛県)

●特集の施策詳解では文部科学省の仲村健二生徒指導室長が不登校対策「COCOLOプラン」のねらいや内容、展望を説明しており、同プランへの理解が深まりました。「学校風土に見える化し、誰もが通いたくなる学校」の実現には、教育委員会の支援とともに校長の胆力が問われます。校長が管理職として教員に働きかけて、児童生徒への支援を浸透させることが重要だと考えました。(新潟県)

●特集の公益社団法人子どもの発達科学研究所の和久田学所長による解説では、教員と児童生徒・保護者との間に不登校の要因の解釈にずれがあると指摘されていました。教員は不登校の要因を友人関係や家庭内の問題と捉える傾向がありますが、教員自身が要因になっていないかも振り返る必要があると感じました。和久田所長が提示した具体策を、勤務校でも具現化したいと思えます。(兵庫県)

●特集の東京都八王子市教育委員会の事例を読み、子どもの「学校復帰」よりも「社会とつながる」ことを優先する姿勢が素晴らしいと感じました。学校は「学校復帰」を優先させてしまう傾向がありますが、「学校復帰がその子のためになる」という考え方は、必ずしも正解ではないのだと思いました。(滋賀県)

●海外には教室にソファがあり、つらい時にそこで休憩できる学校があると聞きました。不登校の児童生徒に限らず、どんな児童生徒にも大人にもつらい時はあります。特集の埼玉県戸田市教育委員会の事例を読み、同市の全市立

小学校に校内サポートルーム「ぱれっとルーム」を設置したのは、素晴らしい取り組みだと思いました。(大阪府)

●連載「Leader's View」の山形県山形市の記事では、学校と行政が一体となり、教育を通してまちの人材を育成するという視点が印象に残りました。地域と一体となった持続可能なまちづくりに向けて、需要と供給のバランスが取れた循環システムになれば、文化として定着していくと感じました。(千葉県)

●連載「教委の新規事業実現までのストーリー」の記事を読み、大分県玖珠町の「玖珠町ジュニア ICT リーダー事業」に関心を持ちました。まちの魅力を発信しながら、まちの課題に企業と一緒に取り組み、アイデアを創出する活動は、中学生の意欲を高めます。教育委員会と企業の役割分担や、中学生に責任を持たせる発想に刺激を受けました。今後、追跡取材し、費用対効果を本誌で紹介してほしいです。(鹿児島県)

●連載「データで教育を読む」を読み、コロナ禍を経て、子どもの学習意欲や保護者の意識に変化が表れた理由を考えました。日本がPISA2022において3分野とも好成績を収めた背景には、コロナ禍による学校の休業期間が諸外国より短く、教員がICTの活用も含めて工夫を重ねた結果だと評価されていました。学校には、学力だけでなく、そうした心と生活を支える教育も必要だと思いました。(岐阜県)

●シティプロモーションは教育と関連が深いと思いますが、教育施策の成果を上げるための手立てやその成果のアピール方法など、多くの課題があります。新連載「教育×シティプロモーション 先進事例紹介」の記事を読み、それらの課題を乗り越え、移住者を増やしている愛媛県西条市の取り組みに大変興味を持ちました。同市のような市区町村をさらに知りたいと思いました。(広島県)

## 編集後記

小誌を担当する前、全国の高校のアセスメント分析に長くかかりました。県全体で結果を分析する際には、各学校の校長先生の承諾を得てからテストデータを取りまとめて分析しました。それに対して、義務教育段階のアセスメント分析は非常にスムーズです。アセスメントデータを教育委員会が持っていますし、市区町村のデータと自校のデータを比較しながら分析ができます。高校から見るととてもうらやましい環境にあると思えました。(齋藤)

## VIEWnext 教育委員会版 2024 Vol.2

2024年11月22日発行/通巻35号

発行人 田村隆憲  
編集人 柏木 崇  
発行所 (株)ベネッセコーポレーション  
学校カンパニー  
VIEW next 編集部  
〒151-0061  
東京都渋谷区初台1-53-6  
初台光山ビル

印刷製本 研精堂印刷(株)  
編集協力 (有)ペンダコ、  
(株)オンソノ  
執筆協力 二宮良太  
撮影協力 岸 隆子

©Benesse Corporation 2024

※次号 Vol.3の発刊は、2025年3月を予定しています。